

二三九九番

あからひく 肌はだも触ふれずて 寝ねたれども 心こころを  
異けには 我わが思おもはなくに

二四〇〇番

いでなにか ここはなはだ 利心とこころの 失うするまで思おも  
ふ 恋故こひゆゑにこそ

二四〇一番

恋こひ死しなば 恋こひも死しねとや 我わ妹子もこが 我家わがへの  
門かどを 過すぎて行ゆくらむ

二四〇二番

妹いもがあたり 遠とほくも見みれば 怪あやしくも 我あれは恋こふ  
るか 逢あふよしをなみ